

東京協議会「第 2 巻講座」のおすすめ

埼玉『資本論』教室(第2巻講座)運営委員会

埼玉での学習は、宮川彰先生を講師としてすでに1月から始まっており、ちょうど半ばに来ております。同じ『第2巻』を学習するものとして、ぜひ受講をお勧めします。

第1巻では『生産過程』について学習しました。生産はその準備(人・モノをそろえる)と生産したあとの販売で剰余価値を貨幣に実現することが欠かせません。流通と生産は一体です。

第1巻で学習した生産過程で生み出された剰余価値が、価値増殖だけを目標とする資本としてどのように運動するか、生産と流通はどのように絡み合い、社会の再生産過程を形作っているのか、それを学習するのが『第2巻』です。このことがわかると第2巻はとても面白いです。

第1巻を未学習の方へ

チラシ・講師メッセージにありますように『初心者にわかるように』を意識して学習をすすめます。

埼玉教室でもどんな質問にも講師からの丁寧な回答があります。ぜひふるって学習に参加されることを心からお勧めします。

.....

【『資本論』はじめての方へ、講師メッセージ】

”よくわかる第2巻講座“と今回、看板に銘うちました。工場経営者(労働者)もお百姓や漁師らも、市場に向けた製品を「つくって、そして売りさばく」ことで一仕事です。できればメーカーの希望価格で残らず「売りさばく」ことに生産者たちがどんなに心砕くか、「命がけの飛躍」が待ち受けます。第2巻では市場での資本の「流通」プロセス、その売りと買いとそこに相互に依存しあい、からみあう関係を見届けます。

「つくって、売りさばく」、第1巻の「生産」過程と第2巻の「流通」過程とは切っても切り離せない、一連のセットになった仕上げ関連です。ですから、第1巻の「生産」、すなわち剰余価値搾取の仕組みを徹底的におさらいし、確認しながら一歩いっば「流通」仕上げを学びすすめましょう。

「学ぶ意欲ある読者」(マルクスの期待する読み手)一人残らず会得できるように!を motto に銘記して挑みます。

.....